

八丈島近海 M5 規模地震 **同地点同時多発** は異常 **海底爆弾地震嫌疑** !!!
震源 4~6 ? 個が同時滑走開始? **同時同規模地震発生**? ? 2023/5/15,19,23,24,25,26

3/11 津波海底 **小核爆弾** の米海軍犯行は艦船レーガン自損 **米兵被爆** で明白 **裁判取り下げ!** >、
今回八丈島の同時同地点多発地震は自然地震ではありえないと断言可能!!!、
犯人は 3/11 前科のある米海軍と共謀犯海洋開発機構地球号 <7.5km 掘削> !!

問題は今後の **誘発地震** だが、近時発生ならば小難、半年、2 年後だと大型地震になる、
これに関しては **電離層直前電子濃度上昇[3]** が必ずあるので、生命だけは救済可能!
損失財産回復は 3・11 東北大震災と並行して米に賠償を求める、
*震源 **八丈島** はいずれの誘発対象のプレト境界層から幸い遠いようだ <後述>。

*現在 **太陽フレア強化時期** で過去から誘発地震の報告多し、だがそれは HAARP(MU) 同類で
自然地震類似動作になるはずだ、このドサクサ便乗で隠れようとした??、。

[1]: 気象庁地震情報一覧

<https://www.data.jma.go.jp/multi/quake/index.html?lang=jp>

発生が 同時期	震央地名	Magnitude 強震!	震源深度 同一深度	最大震度	発生同地点 0.1 度 = 10km
2023/05/14 20:29	八丈島近海	4.7	10km	震度 1	北緯 33.4 度 東経 139.4 度
2023/05/14 19:11	八丈島近海	5.9	10km	震度 2	北緯 33.4 度 東経 139.3 度
2023/05/14 17:44	八丈島近海	5.3	10km	震度 1	北緯 33.0 度 東経 139.0 度
2023/05/14 17:21	八丈島近海	5.9	10km	震度 2	北緯 33.3 度 東経 139.2 度
2023/05/14 17:12	八丈島近海	5.6	10km	震度 3	北緯 33.4 度 東経 139.3 度
2023/05/14 16:03	八丈島近海	4.7	10km	震度 1	北緯 33.3 度 東経 139.3 度

八丈島近海で地震相次ぐ 気象庁、今後の活動に注意呼びかけ 海域の浅い場所で発生
…大規模な地震で津波のおそれも...2013/5/14:23:02

<https://news.ntv.co.jp/category/society/e555bbcd89004d499487a42b0e406de7>

震源 **八丈島** は以下を見ると、いずれの誘発対象のプレト境界層から幸い遠いようだ。

関東地方の地震活動の特徴<気象庁>

https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_kanto/

*筆者は重大案件にも関わらず、サイトを多少見ただけで即断する場合がありますので注意!

懸念の誘発地震に要する時間&地震規模の見積もりは以下、

付録5:地震規模と時間経過規模の非常に粗い推計。

M	☞☞☞☞☞ 時間数値は例えば±50,100%とかの大幅誤差あり					地震規模 (体積比例)	成長時間 (長さ比例)	破壊経過 時間
M4	1,27k	0,63	0.235k	0.12km	78m	0.631x10 ¹¹	1.6年	1.2日
M5	4km	2m	0.74km	0.34km	0.25km	0.200x10 ¹³	5年	3.8
M6	12,7k	6,32	2.35km	1.2km	0.78km	0.631x10 ¹⁴	16年	12
M7	40km	20m	7.4km	3.4km	2.5km	0.200x10 ¹⁶	50年	38

* 成長時間＝地球地層熱流動＝プレート移動に伴う引きずり歪力最大値形成時間

* 破壊経過時間＝最大歪が引金刺激層滑走開始から最大速度衝突(地震発生)までの時間

結論:来日バイデンに直訴!!!

本件同時多発異常地震<犯罪>～M6が引き金になり、誘発地震可能性が起こる、大規模地震になれば、発生は半年,,二年後とか時間遅れが大きい

直前に電離層電子密度異常増が起きるので事前予知可能→生命救済可能!!!

☞<超犯罪>:3//11 東北大震災の巨大損害は津波被害、津波は海底爆弾複数時間の調整で強化合成された、米海軍が同時期に同海上に居た事実がある。米は犯罪被害に責務がある、{地震被害賠償+日米安保廃棄}に応じるべく、政府-国民運動を!!!

*あれだけの被害 3/11 地震に関し日本告発がないので、トルコの歴史未曾有地震兵器被害が起きた。我々だけの問題ではもはや済まない。3//11 以前には阪神淡路大震災も、これは社会党政権下、3/11 は民主党下、いずれも非自民政権!!、戦後傀儡一党独裁は米の意向そのもの、米は超犯罪者!!!

[2]:米軍地震兵器攻撃 3/11 東北福島震災破綻裏側真相

結果自損被爆の米艦船レーガン乗員裁判は取り下げ、墓穴掘になるからで！！

<精細証拠提示>！

http://777true.net/the-convergence-to-genuine_J95-Reverification-on-the-Criminal-3_11.pdf

3/11 は自然地震力を人工誘発(電磁地震兵器 HAARP)、本震発生に同期して遠隔制御海底設置爆弾複数個で津波合成した結果、東北福島沿岸破綻。揺れ本震被害は意外にも小さい。特殊核爆弾と地震兵器技術保有は米国、3/11 東北福島破壊は米軍戦争犯罪！！！！

9/17 追加: 付録1: 自然地震と爆発地震の初動地震波の決定的違い。

付録2: HAARP 基地→電離層高度→震源位置.

「まるでGHQ だ」3・11 のトモダチ作戦に隠れた攻防... その時米軍は「日本再占領」に動いた

<https://bungeishunju.com/n/nc9afa3562167>

2011年3月11日に起きた東日本大震災は、ほんとうに自然発生地震だったのか

: 日本政府はなぜ、真相究明しないのか

http://blog.livedoor.jp/hisa_yamamot/archives/19281619.html

この米空母は、東電福島原発から、はるか離れた太平洋三陸沖の震源域にいたはずですが、なぜか、大量に放射能被曝者が出たのです。

空母ロナルド・レーガンの被爆者が311人工地震の真実の生き証人

http://rkblog.html.xdomain.jp/201405/article_161.html

[3]:地震電磁気学直前予知。

下記提示如く物理原理は明確、予知不能を言う既成地震学会が非科学待遇は逆さま不当！！
地震学会に限らず、コロナ対応医学会、気候変動沈黙気候学会と国民生命無視のΩ真理教に近い、

基本原理: 地表電荷の地震直前震源回帰移動に伴う電離層変動。

- (1)物性物学定理として全元素は超高压化で金属化、表面に自由電子析出。触媒空間になる。
- (2)高電荷密度触媒空間では元素の電荷消滅、化学結合消滅→電荷密度波震源破壊(HARP),
重水素原子核間の電荷反発消滅→常温核融合→超高压岩盤面での注水微小核爆発力地震
- (3)地震発生前超高压震源で疑似金属化元素の電子が震源域を離れ地表負電荷大析出¹⁾。

—宏観異常現象—

- (4)静電誘導で電離層下部は正帯電、所が震源滑走開始震源圧緩和で地表電子が震源回帰
- (5)この結果電離層電荷反転電子濃度上昇が反射鏡となり、FM 波遠方伝搬異常等が起きる。
- (6)地震頻発古代を生き延びた爬虫類、ほ乳類はこの電磁環境変化敏感で逃避行動を示す。
- (7)電離層と地表の大規模電荷変化はイオン大量雲にも異常変化を起こす、
- (8)地電流観測にも異常変化が検知できる、

¹⁾; ☞ 電荷暗黒穴理論: 電界一様空間では電荷実在でも電荷観測0になる。

http://www.777true.net/Earthquake-Prediction-by-Phenomena-of-Seismic-Electromagnetism1_2.pdf

電荷保存法則では電荷総量は±相殺で必ず0と思われるのだが、電荷疑似消滅が起こる。
電界一様空間では電荷実在でも電荷観測0になる<量子論では可観測量だけが有意>。

$\rho = \text{div } \mathbf{D}(x)=0, \langle \partial D / \partial x = 0 \rangle, \dots$, 電荷が密に集積すると電界空間変化は0に収束する、
この結果、大規模電子が地表に集まる、電磁気学結論として表面集積が最小 potential になるから。

²⁾; ナマズ, 電気鰻と側線神経:: 電界検知能力を有する、他生物でも退化ながら有する。

Earthquake Forecasting by Observing Anomaly of Animal Behaviour

<http://777true.net/Earthquake-forecasting1.pdf>

GEONET リアルタイム GPS 全電子数マップ ▲

https://aer-nc-web.nict.go.jp/GPS/RT_GEONET/

地震前兆掲示板 ▲

<http://jisbbs.com/>

地震解析ラボ ▲

<https://bosailab.jp/lab/>

東海大学・長尾教授 ▲

<https://www.sems-tokaiuniv.jp/EPRCJ/>

NASA (USA) グローバル TEC マップ [5分毎] ▲

<http://web.matrix.jp/nasa-min/>

LAST QUAKE the official ESMC app

<https://www.emsc-csem.org/#2w>

世界の全地震情報が網羅されてます！！！！

補遺:

[【HAARP モニター観察】またまた M2.2 の中規模フレアが発生し太陽風の乱れが到来中!](#)

[→関東千葉の大地震はこれのせい!? 2023 年 05 月 11 日](#)

<https://quasimoto4.exblog.jp/33253275/>

大量電荷が地球に飛来、震源層挙動に影響すると言われるが定量根拠?

電荷密度波同類だが、貫通性の波動伝搬侵入ではなく、粒子運動量侵入?

付録1:相模トラフ近傍 M5 級地震多発では関東直撃 M7 地震の近日可能性が起こる。

東京・利島村で震度 5 弱 相次ぐ地震・南海トラフとは「関連性なし」？ 専門家の懸念は「火山」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/0f2a66f8e175c4bb7aad3314ccc21b9c6fd71554>

有給専門家がきちんと書ってくれれば、無給筆者が書くことはないのですが！！近日はすっかり本業が停止状態です

①遠い八丈島近海 M5 規模地震同地点 6 発<5/14>,より近い新島近傍 M5,M4 が2個
1923 関東大震災から 100 年、M8<大震災>成長<160 年>には短い、M7<50 年>には十分！、
今の多発地震が誘発地震引き金になれば M7 断層滑走時間は 38 日<±誤差非常に大！！>。

今後も伊豆諸島の M5 級発生有無に警戒、

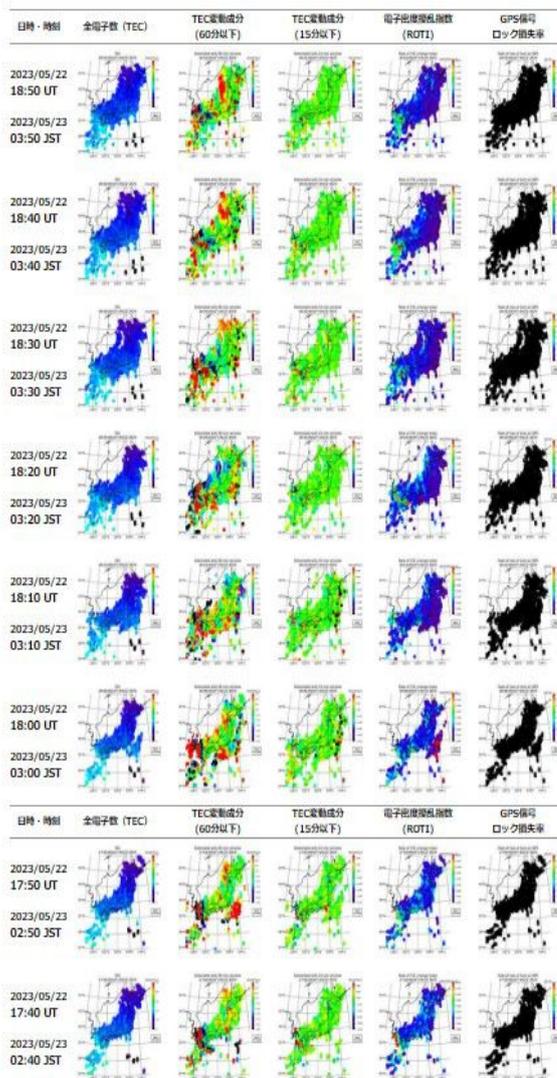
②直前兆候＝電離層電子密度赤化異常の観測：

https://aer-nc-web.nict.go.jp/GPS/RT_GEONET/

毎日2回程度欠かさず見ないと変化が判らないでしょう、

宇宙天気予報/TEC(全電子数)記録があるが、見方が??

<https://swc.nict.go.jp/forecast/ionosphere.html>



2023/5/23:8:50

TEC(全電子濃度)変動 60 分、東北と関東はまれにし
か赤くならない。今回は赤
い、

九州近辺は日頃から赤いで
すが地震はなかった。

電離層は太陽事情も反映、
今期は過去にない太陽フレ
ア活発活動期と言う指摘が
ある。その場合は地域変化
がないとみられるのだが、

筆者はこの電子濃度表示の
意味が判ってない。判った人
は教えて下さい。

③ 相模トラフく地震本部

https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_kaiko/k_sagami/

【相模トラフ沿いのM8クラスの地震】

地震の規模 : M8クラス(M7.9~M8.6)

地震発生確率: 30年以内に、ほぼ0%~6% (地震発生確率値の留意点)

地震後経過率: 0.17-0.55 (地震後経過率とは?)

平均発生間隔: 180年~590年

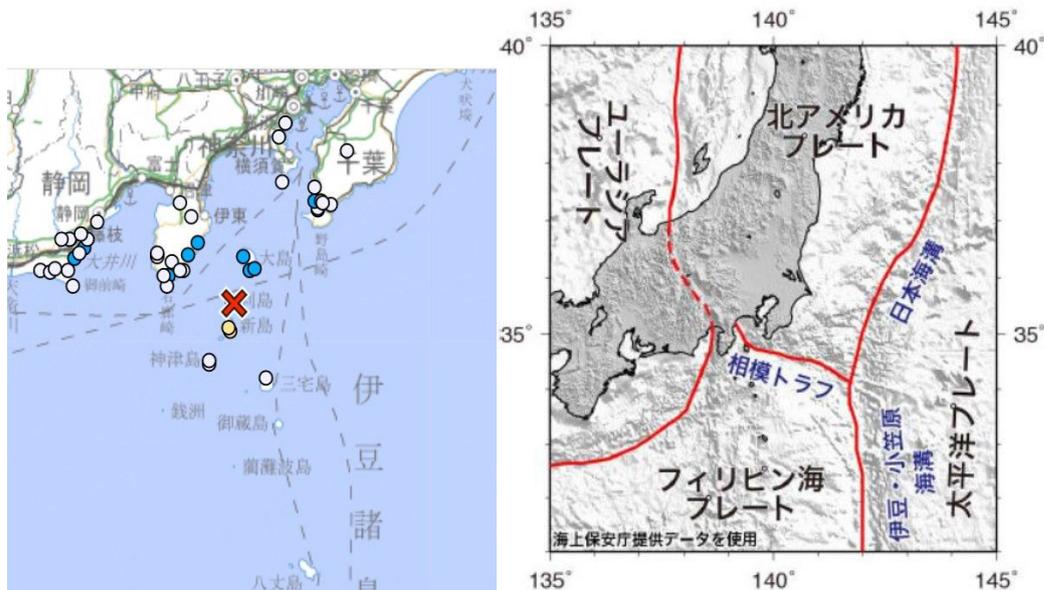
最新発生時期: 1923年大正関東地震

【プレートの沈み込みに伴うM7程度の地震】

地震の規模 : M7程度(M6.7~M7.3)... 👉: M7::周期 50年、滑走時間 38日

地震発生確率: 30年以内に、70%程度 (地震発生確率値の留意点)

詳しい内容を知りたい方は、「相模トラフ沿いの地震活動の長期評価(第二版)」をご覧ください。



④問題の多発(1)?地震、自然由来(2)??、地震兵器(3)???

(1)単純平均で深度1以上の有感地震頻度 3~6 個/日となります。

震度3は2個/3日, 震度4は1個/5日。震度5,6は大被害になる。

有感地震の頻度(2015年9月修正)

https://www.zisin.jp/faq/faq01_06.html#:~:text=%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%8A%E3%82%88%E3%81%B3%E3%81%9D%E3%81%AE%E5%91%A8%E8%BE%BA%E3%81%A7,%E7%99%BA%E7%94%9F%E3%81%99%E3%82%8B%E3%81%93%E3%81%A8%E3%82%82%E3%81%82%E3%82%8A%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82

日本およびその周辺で人間のからだに感じる地震(震度1以上の有感地震)は、1年間に1,000~2,000回程度あります。単純に平均すると、1日あたり3~6個となりますが、有感地震が起こらない日が続くこともありますし、1日にまとまった数の有感地震が発生することもあります。

●過去10年間(2010年~2019年)の最大震度別の月別地震回数

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/monthly/201912/2010-2019_tsukibetsu_kaisuu.pdf

(2)多発地震は自然由来??。今よく言われるのが太陽フレア活動期の影響という説。

コロナ質量放出

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A%E8%B3%AA%E9%87%8F%E6%94%BE%E5%87%BA>

放出されたプラズマは通常の太陽風の速度(-400 km/sec)よりも速く広がり、CMEsによって圧縮された空間に発生するショック面(通常、CMEsの前面)の速度は、700-800 km/secにも達する場合がある。放出される質量=10¹² kg(10億トン、地球の重さの約6兆分の1に匹敵する)にも上り、速度=30km/s 3000km/s キロメートル、太陽からCMEが放出される角度は50度程度

$$U = MV^2/2 = 10^{15} \text{ g} \times (3000 \times 10^5 \text{ cm})^2 / 2 = 4.5 \times 10^{32} \text{ erg}$$

$$J = eN_A(M/m)V = 1.6 \times 10^{-19} \times 6 \times 10^{23} \times (10^{15} \text{ g}/1 \text{ g}) \times 3000 \times 10^3 \text{ m/s} = 2.9 \times 10^{36} \text{ A} \rightarrow J_T = 7.5 \times 10^{37} \text{ A}/4\pi$$

$$\text{太陽放出立体角正規化} = 4\pi / <2\pi (50/180)^2> = 26 \text{ 倍}/4\pi \rightarrow J_T$$

$$\text{太陽地球立体角} = 1/140,000,000 \rightarrow J_{E/2} = 4.3 \times 10^{28} \text{ A}/\text{地球半面}$$

$$S = \text{地球半面積} = 510,100,000 \text{ km}^2 / 2 = 2.56 \times 10^{16} \text{ m}^2.$$

$$J_1 = J_{E/2}/S = 1.7 \times 10^{12} \text{ A/m}^2. \dots\dots \text{超大電流、本当?これがまともに降ったらばみなフライドチキン!}$$

地球核の大渦電流が作る地場が宇宙線から地球を保護してるそうです。
然るに多少の漏れが起きる、時には大きいとも言われます。

以下は全くのデタラメかもしれない、

超高圧震源物質の Coulomb Explosion 仮説 :

<p>超高圧下震源物質は 物性物理定理で 擬金属! 中心部電荷は 見かけ上、消失 その分の電子が地上析出</p> 		
<p>空色は自由電子層、実際は非常に薄い 震源全体として電荷中和、</p>		<p>金属原子団が正帯電 原子団結合破壊!! →震源破壊→</p>

(3)多発地震は地震兵器由来！？。

完全ではないが技術原理は既に本サイトでは反復して記述した、

(a)最悪政治操縦動機？！：

1995/1/17 阪神淡路は村山社会党政権、2011/3/11は官民主党政権といずれも**米軍産の意志＝戦後実質一党独裁自民政権**外の時期に地震兵器攻撃が起きてる事は確実な事実である。

米大統領の広島来日につき、岸田政府-広島市民-[阪神淡路-3/11 東北大]被災者への請願

<http://777true.net/Unite-to-Turn-the-Defeat.pdf>

(b)日本の米軍産複合体暴政からの解放は**相互相打ち大代償**が避けがたい！！

阪神淡路、東北大震災、そして首都圏大震災3度目があり得るか？、米懐事情と軍産！！

副島、口先公約のトラと違い弟ケネディ Jr の米軍完全撤退の公約は重い。軍産複合体が全力で潰しにくるが叔父と父を殺された彼は内蔵助に劣らぬ本気さである。

<http://www.asyura2.com/23/cult45/msg/581.html>

最悪想定としての戦後焼け野原日本、皆がボロで食うに窮したが、そこで初めて日本人は自由を手にしたと言う。現状趨勢では一時の幻想＝なまじ華美東京があるから、皆が今は気候資源崩壊戦争直下にあるを認知できない。食うに困る事態こそが日本を正気正論に戻す！！

バイデンが軍産行動を制御できるのかは知らない、ナチス米は政治が2重構造だから、だが地震兵器で東京破壊となれば世界ニュース、すでに地震兵器は国際常識、世界が日本の味方になる！！、3度目の日本地震攻撃破壊となれば米は一層窮地が不可避、誰も米債を買わない<地震兵器を打ったら米債から日本離脱、**緊急の救済資金**>、米破綻は避けがたい、米国内もタダで済まない！！、反軍産のケネディ Jr の登場が無理でなくなるだろう、

(c)地震兵器暴露 vs テロ犯罪者：

彼らに最良は皆が地震兵器存在と脅迫を承知、なれど、その原理に及ばず、沈黙する。

日本では国会証言もあり、議員は承知、全く知らねば脅迫手段になりえない、だが現実はそうでないのだ。この脅迫暴政からの解放は全面暴露と犯人検挙あるのみ、この世論を脅迫する為に告発者脅迫で地震兵器を打ちつづける、

付録2:地震規模の粗推計

M(N+1)/M(N)=10^(1/2)の scale 比での地震規模の粗推計

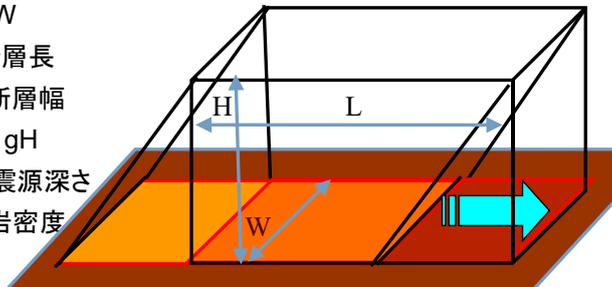
* 白地データは地震モーメントからの引用。☞数値は例えば±50,100%とかの大幅誤差あり。

	断層長 =L	変異量 =D	幅 W=E/DL(Hpg), P=Hpg. $\rho=2.7 \times 10^3 \text{kg/m}^3, g \equiv 1 \text{m/s}^2$			Joule E=D(LW)P 地震形成 energy	震源 歪形成 成長時間	震源 破壊時間 =滑走 →衝突
			H=10km	H=20km	H=30km			
			2.7x10 ⁷	5.4x10 ⁷	8.1x10 ⁷			
M1	40m	0,02m	7.4m	3.7m	2.5m	0.200x10 ⁷	0.05 年	0.038
M2	120m	0,063	23.5m	11.7m	7.83	0.631x10 ⁸	0.16 年	0.12
M3	400m	0,2m	74m	37m	25m	0.200x10 ¹⁰	0.5 年	0.38
M4	1,27k	0,63	0.235k	0.12km	78m	0.631x10 ¹¹	1.6 年	1.2 日
M5	4km	2m	0.74km	0.34km	0.25km	0.200x10 ¹³	5 年	3.8
M6	12,7k	6,32	2.35km	1.2km	0.78km	0.631x10 ¹⁴	16 年	12
M7	40km	20m	7.4km	3.4km	2,5km	0.200x10 ¹⁶	50 年	38
M8	127k	63.2m	23.5km	11.7km	7.83km	0.631x10 ¹⁷	160 年	120
M9	400k	200m	74km	34km	25km	0.200x10 ¹⁹	500 年	380 日

地震モーメント.

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%9C%B0%E9%9C%87%E3%83%A2%E3%83%BC%E3%83%A1%E3%83%B3%E3%83%88>
 経験的に地震規模と断層長・変位量の目安が分かっている。断層長、幅、変異量の比率が地震規模に拘わらずほぼ一定で相似と見做すスケーリング則が成立している。

断層面剛性率 P(圧力 pascal)、断層面積 A(m²)、PA=F<newton>,断層全体変位(すべり)量 D(m)、
 A=LW
 L=断層長
 W=断層幅
 P=ρgH
 H=震源深さ
 ρ=岩密度



地震エネルギー M=PAD=FD<Joule>

M6.0., E=0.631x10¹⁴Joule.
 D=0.6m
 →F=E/D=0.631x10¹⁴/0.6=PLW。
 L=13km,
 P=ρgH,
 W=F/L ρgH
 g=9.8m/s²→1
 ρ=2.7 × 10³kg/m³.<筆者仮定値>
 H=10km 震源深度.,W=F/PL=300m,?
 H=20km 震源深度.,W=F/PL=150m?,

震源滑走最終速度 v 粗推計

E~Mv²/2=ρVv²/2;;V=LWh...(h<H)
 v=√(2E/M)=√(2E/<ρLWh>)=√<Q/h>
 Q=2E/ρLW=2HE/F=2HD.....D=0.6m.
 v=√<Q/h>=√<2HD/h>≐1.1m/s.?.<h=H>

弾性反発理論異常_震源物理学&流体力学地震学.

http://www.777true.net/elastic-rebound-theory-anomaly_epicenter-physics_fluid-seismology.pdf
<https://www.s-yamaga.jp/nanimono/chikyuu/chikyunoko-01.htm>

scaling 則;;;energy U=変位×力=U=Df=DM(d²x/dt²)=D<L³ρ>(d²x/dt²).

時間空間の k 倍 scaling:::U(k)=kD<k^(2/3)L>³ρ>(d²(kx)/d(k²t))=k³U

質量 M に関わる scaling は3次元でなく、2次元だから面積力=圧力 P という意味か??

* 震源歪形成成長時間に関わる引用先:

痕跡調査で浮かぶ「スーパーサイクル」“超”巨大地震の周期

https://www3.nhk.or.jp/news/special/saigai/select-news/20210311_01.html#:~:text=%E7%8F%BE%E5%9C%A8%E3%80%81%E5%9B%BD%E3%81%AE%E5%9C%B0%E9%9C%87%E8%AA%BF%E6%9F%BB,%E3%81%A6%E3%81%84%E3%82%8B%E3%81%A8%E3%81%97%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82
国の地震調査研究推進本部は岩手県沖南部から茨城県沖の領域全体が一気にずれ動くマグニチュード9程度の巨大地震は平均で550年から600年に1度の間隔で発生しているとしています。

震源滑走時間に関与するとみられる奇異な資料コピー

地震発生過程のスケール依存性

縦軸が相当、しかるに論文中に定義明示がないです。

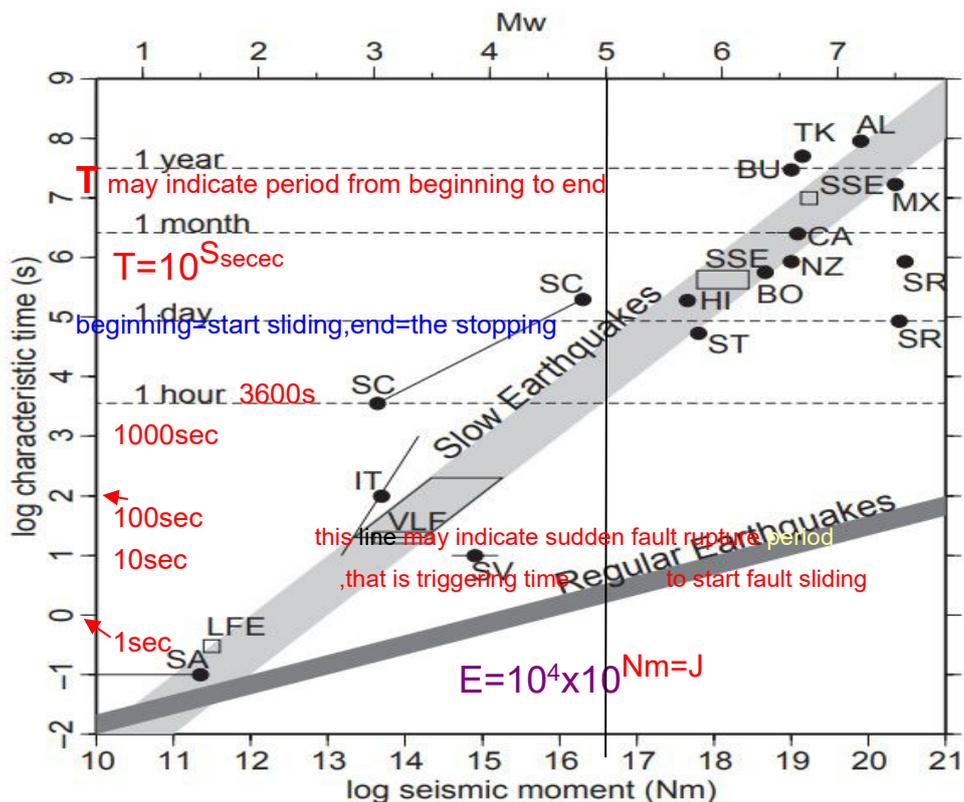
URLコピーが動作しないです。提供者に感謝申し上げます。

M8の大規模がREGULAR EARTHQUAKEのlineだとT=数重秒、

これは初動の断層破断時間だとみられます、最初のスリップ開始

しかも実例提示が何も無い??

Slow Earthquakeこそが通常の地震なのでしょう、これには実例明示があります。



This is very curious enough site the URL is wrong, and had suddenly disappeared.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/zisin/61/Supplement/61_329/pdf/-char/ja

付録3:地震用語集。

[地震の用語集 / HAKUSAN ライブラリー](#)

https://www.hakusan.co.jp/library/glossary_seismic.html

判りやすい、深くも言及してます。

政府地震本部のそれは実に粗雑で不親切、日本の官立研究機関大学 XX 学者の悪い傾向として、
素人は判らない難しい話を聞くと有難がる、その逆も真なりで、

現代世界最大特徴は大規模な嘘の席捲！！ ← 悪支配階級は国民無知を切望

その為に騙しに弱い未来を背負う責務の Z 世代が育成された。だが実態は年代構成無関係に全世代化、権威に依存せず、自立論理判断養成こそが生き残りの条件になる！！
筆者自身も過去に大まちがい多数をやってる、それも後に気づいて修正できれば OK、
気づかないと致命傷！！

付録4:地震波形の見方。

(1) [核実験と自然地震…波形の違い](#)

<https://otenki-bosai.seesaa.net/article/a63698762.html>

爆発地震波では最初冒頭に**最大振幅**が出現！！、以後は一途に減衰します。

(2) [典型的な自然地震の波形](#)

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/world/about_wphase.html

自然地震では最初に**縦波 P 波**の小振幅が継続した後に**横波 S 波**最大振幅が一回。その後は一途減衰します。高い周波数は短距離で減衰、長距離では低い低周波振動が伝搬、筆者自身も 400km 遠隔地横須賀では仙台沖の東北大震災の長時間低周波大振動を観察しました。

あまねく騙しが支配する世界では、真実を述べるは革命行為である。……G.オーウェル

気象庁は人工地震では**嘘データ**を出すという非難のサイトがありました。

☞ : 気象庁は被害が大きくなる可能性の M4 以上地震では**速報地震波形**を提供する！！
全国民監視の下に置く！！

生命直結問題のコロナ+ワクチン問題でもそうだったが、税金動作の政府公共機関大学等が被害可能性納税国民に本当に自衛に役立つ地震知識普及に誠実なのかと問えば激憤なことに逆である、気象庁、および地球環境情報提供官庁が誠実に情報提供する事を要望します。

(3) “地震雲”に“人工地震” 「いいえ、違います」, NHK,2023.02.14

https://www3.nhk.or.jp/news/special/saigai/select-news/20230214_02.html

東京大学古村孝志教授:トルコ国内のデータも世界各地のデータも自然地震であることを裏付けています
気象庁や東大とか権威で素人を騙す、これでは国家国民の安全な営業と生活ができない

筆者反論:

M7.8(2/6:4:17)→100km,8時間後→M7.7(2/6:13:24)??

世界のスクヤダル!、後発地震は前者地震の誘発地震ではない!!、その証拠が以下.

Bulletin by Istanbul Technical University <イスタンブル工科大学速報>

https://haberler.itu.edu.tr/docs/default-source/default-document-library/2023_itu_deprem_on_raporu.pdf?sfvrsn=bf82d8e5_6

上記論文には以下議論はないでしょう、重大案件ながら要約に記載がない.

被害を倍増させた後発 M7.7 地震(2/6:13:24)は先行 M7.8(2/6:4:17)誘発地震になりえない、刺激到達から 8 時間=0.33 日では 2 桁違いに無理、スケール則に従えば誘発になるには 38~120 日後<大幅誤差あり>、震源層滑走開始はほぼ同時期に起きた。14 日後のシリア M6.4(2/20:17:94)は誘発地震になりえる。

地震規模 M と震源形成にかかわる年数、および震源破綻滑走開始から地震発現までの日数、								
M	L	D	W			エネルギー	成長時間	滑走時間
M6	12,7k	6,32	2.35km	1.2km	0.78km	0.631x10 ¹⁴	16 年	12 日
M7	40km	20m	7.4km	3.4km	2,5km	0.200x10 ¹⁶	50	38
M8	127k	63.2m	23.5km	11.7km	7.83km	0.631x10 ¹⁷	160	120

現実には大幅な誤差はありますが、スケール則に従えば M6 は 12 日、妥当な数字です。

米が高慢残忍犯行に及んだトルコの抱えた政治問題が以下、

トルコ・シリア地震:これはテロ行為か?

<https://www.globalresearch.ca/turkey-syria-earthquake-act-terror/5807763>

状況証拠多数が掲示されてますが、科学根拠がないと述べてます。

世界は地震兵器を知ってます!!!

付録5:新島連発地震とフィリピン海プレートの高温火山性マグマ溜り！.

<高温地下層での常温剛性率(深度 20Km 未満)前提のスケール則破綻?!>

高温地下層伊豆諸島では震源滑り時間が桁違いに短い現象が起こり、連発地震を起こす、

※滑りが極限までに早くなるのが火山噴火!!、然るに5/22 新島での M5,M4 連発は誘導地震として

巨大爆弾を抱える相模海溝に脅威?!、気象庁相談では近時可能性は低い!

M7 滑走時間は 38 日と短い!! →5/22+38=7、8 月、空振り期待で事前準備を!!

日本列島周辺のプレート

<http://www.5d.biglobe.ne.jp/~miraikai/nihonnopureito.htm>

①北米プレート<南西移動> ;②ユーラシアプレート<北東移動>

③フィリピン海プレート<北東移動>:④太平洋プレート<西移動>

自然地震の本質的原因は地球中心核の核融合熱源とそれに伴うマントル流体熱対流運動

=地球 10 個あるプレート対流移動<移動速度=0.1m/年>

日本太平洋側には①②③がぶつかる地点が相模海溝<トラフ=日本 3 大深海。駿河湾、富山湾>

更にそれら下に潜り込むが④太平洋プレート<西>とヤバい事世界稀有点になる。

※例外的に関東大震災の震源位置(10 個)と震源深度(2 個)は研究者見解で大きく多様、理由があるのだろう。

然るに島の下には高温火山性マグマ溜りがあるらしい。これが連発地震の原因らしい。

2023/05/22 19:48	Noto, Ishikawa Prefecture	2.9	2	2023/05/22 19:53
2023/05/22 19:46	Adjacent Sea of Niijima Island, Kozushima Island	5.1	4	2023/05/22 19:50
2023/05/22 19:21	Adjacent Sea of Niijima Island, Kozushima Island	2.5	1	2023/05/22 19:24
2023/05/22 19:12	Adjacent Sea of Niijima Island, Kozushima Island	2.2	1	2023/05/22 19:16
2023/05/22 18:31	Adjacent Sea of Niijima Island, Kozushima Island	2.7	1	2023/05/22 18:35
2023/05/22 18:29	Adjacent Sea of Niijima Island, Kozushima Island	3.0	1	2023/05/22 18:31
2023/05/22 17:54	Adjacent Sea of Niijima Island, Kozushima Island	2.6	1	2023/05/22 17:57
2023/05/22 17:36	Adjacent Sea of Niijima Island, Kozushima Island	2.5	1	2023/05/22 17:39
2023/05/22 17:27	Adjacent Sea of Niijima Island, Kozushima Island	3.6	3	2023/05/22 17:30
2023/05/22 17:08	Adjacent Sea of Niijima Island, Kozushima Island	2.7	1	2023/05/22 17:13
2023/05/22 17:06	Adjacent Sea of Niijima Island, Kozushima Island	2.9	1	2023/05/22 17:09
2023/05/22 17:03	Adjacent Sea of Niijima Island, Kozushima Island	2.6	1	2023/05/22 17:06
2023/05/22 16:58	Adjacent Sea of Niijima Island, Kozushima Island	3.0	2	2023/05/22 17:01
2023/05/22 16:51	Adjacent Sea of Niijima Island, Kozushima Island	3.1	1	2023/05/22 16:54
2023/05/22 16:46	Adjacent Sea of Niijima Island, Kozushima Island	3.3	2	2023/05/22 16:49
2023/05/22 16:42	Adjacent Sea of Niijima Island, Kozushima Island	5.3	5-	2023/05/22 16:46
2023/05/22 15:48	Adjacent Sea of Niijima Island, Kozushima Island	2.7	1	2023/05/22 15:51

M5.3~M5.2 時間間隔=(19:46-16:42)/24=0.13 日、 $T_s(M5)=3.8$ 日からみると一桁早すぎる?!

M3 連発間隔を見ると 10 分とかひどく短いから、高温対流高速マグマだまり上ではあり得るのか

M	L	D	W			震源エネ	震源成長時間	震源滑走時間 T_s
M3	400m	0,2m	74m	37m	25m	0.200×10^{10}	0.5	0.38=9 時間
M4	1,27k	0,63	0.235k	0.12km	78m	0.631×10^{11}	1.6	1.2
M5	4km	2m	0.74km	0.34km	0.25km	0.200×10^{13}	5	3.8 日
M6	12,7k	6,32	2.35km	1.2km	0.78km	0.631×10^{14}	16	12

相模海溝(トラフ).

https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_kaiko/k_sagami/

【相模トラフ沿いのM8クラスの地震履歴】

		1923 年9月1日(大正関東地震) M7. 9
220	220	1703 年12月31日(元禄関東地震) M7. 9~M8. 2
270	208	1495年9月12日(明応鎌倉の地震) ?
	62	1433 年11月6日(永享相模の地震) M7. 0以上
	140	1293年5月27日(永仁関東地震) M7. 0
176	36	1257 年10月9日(正嘉鎌倉の地震) M7. 0~M7. 5

以上の地震周期~200 年を見れば長期間は大地震、短期間は小の弾性反跳理論を反映、

【プレートの沈み込みに伴うM7程度の地震履歴】

1987年12月17日(千葉県東方沖の地震) M6. 7

震源が相模海溝とは違う、M7程度では大被害がない。

*1923年から100年、手前調べでは同震源域では歪解放に通じる規模地震はなく、歪エネはM7を超えてM8に近づいてるだろう。

*M8形成とは裏返せ十分に重しが効いて簡単に震源滑り出しがないと等価、果たして

*新島M5二個が相互距離~150km<不可逆破壊的な高周波成分減衰>、超重量域震源可能性10~20Km? 深度に不可逆ひび割れ誘導地震になり得るか、異常に新島地震等が長期継続だとは違うことにもなる。

報道発表2023/5/22;17:40,, 地震火山部

2023/5/22:16:42 分頃の新島・神津島近海の地震について<M5が3時間で2個>

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2305/22a/kaisetsu202305221740.pdf>

今回の地震周辺の過去の主な地震活動

活発活動期2020年に大型M6が14日間隔で2個発生。2023は冷静期に見えるのだが(p9/16)、

2023/05/22 16:42 34.5N 139.2E M5.3 10km Adjacent Sea of Nijijima Island, Kozushima Island

2023/05/22 19:46 34.5N 139.3E M5.1 10km Adjacent Sea of Nijijima Island, Kozushima Island

今回の2個は3時間、空間が異常接近です、距離は10km程度(139.3E-139.2E)

地震から身を守るために

https://www.data.jma.go.jp/egev/data/jishin_bosai/index.html

備蓄・非常持ち出し品の準備

安全スペースの確保...阪神淡路では倒壊圧迫死が7割り!!、東北大震災は津波溺死

周囲の状況の確認

連絡手段の確認

家具の固定

関東大震災の震源位置多意性？！！

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%96%A2%E6%9D%B1%E5%9C%B0%E9%9C%87#%E9%9C%87%E5%A4%AE>

震央:この地震の震央の位置は研究者によって見解が異なっている。おもな説は

相模湾上が 6 個、波多野近辺 3 個、丹沢 1 個、震源深度、金森と宮村によれば 0-10km、浜田 (1986)は震源断層が出現しなかった事から 10km 以浅は考えに難く、25km。、

※本件はプレート境界線が複数交差する特異な相模海溝域の地震、

日本列島周辺のプレート

<http://www5d.biglobe.ne.jp/~miraikai/nihonnopureito.htm>

付録6:電離圏の電子数の変化で地震予知可能、政府学会気象庁の怠慢

電離圏の電子数の変化で巨大地震を1時間前に検知

～京大が手法を開発..若杉 紀彦 2016 年 10 月 4 日

<https://pc.watch.impress.co.jp/docs/news/yajiuma/1023174.html>

京都大学情報学研究科梅野健教授らは、複数 GPS 観測局データに対する相関解析法を開発。これにより、マグニチュード7以上の大地震発生を1時間から20分前に予測可能になりうることを示した。

付録7:電離圏雑音<太陽嵐>と地震予知の電離層電子密度変動. 2023/5/26

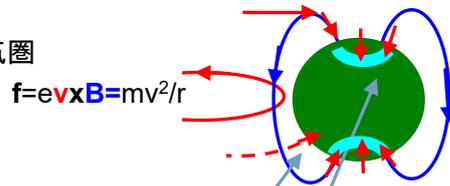
地震予知にとり、太陽嵐プラズマ流地球到来は邪魔雑音！！、だがこの考慮抜きに正確な予知は難しい??
 結論を言えば**嵐強では電子濃度上昇、嵐弱では電子濃度減少**、定量は経験がないと分らないが前者が邪魔。
 2023年は強嵐時期で不都合だろう!!!、責任官庁以下広報は判りづらいの一語、因果関係を明かす説明を!
 判る人は因果関係を明かしてください!!!

電離圏嵐は主に磁気圏の乱れが発生した時に、その影響が背景大気や電場の乱れなど様々な過程を経て電離圏に伝わって起こる事が知られています。<赤字語が意味不明!!!>

<https://swc.nict.go.jp/knowledge/ionosphere.html>

(1)太陽フレア・CME(コロナ質量放出)=**プラズマ(陽子と電子その他若干)流れ**.

太陽プラズマ爆発現象=フレア・CME が起きて
 太陽風プラズマ流れが常在。その流れは地球磁気圏
 磁力線作用でそらされる場合が多い。



(2)磁気圏の乱れ=太陽嵐鎧破綻?

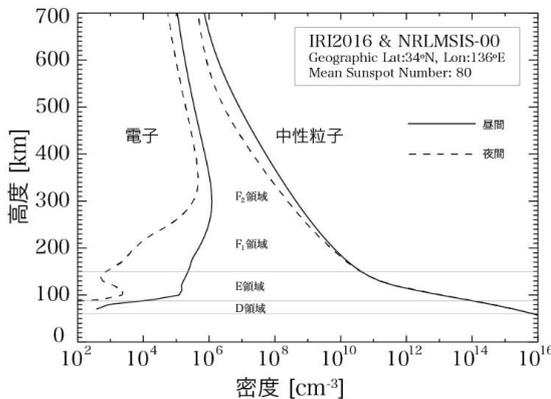
* 磁場電荷運動方程式:一定値 = $eB = mv/r$

質量が陽子の 1/1000 と小さい電子は地球侵入は難しい??、

正電荷陽子侵入速度 v と回転半径 r が反比例に注意!!!、そこで話は2通り

(3)強嵐→正相嵐 →電子濃度増	<p>侵入速度 v が速いと半径 r 増大で地球赤道侵入と言う意味か! + 電荷陽子が赤道侵入で電離層電子密度増??? 赤道上磁界線に正電荷粒子巻き付き運動、その正電荷帯が負電子誘導?? 嵐強の近日 2023 は電子濃度高が観測されます https://aer-nc-web.nict.go.jp/GPS/RT_GEONET/</p>
(4)弱嵐→負相嵐 →電子濃度減	<p>侵入速度 v が遅いと半径 r 減少で極圏磁力線に巻き付き落下と言う意味か! + 電荷陽子が北南極侵入オーロラ帯加熱、大気成分変化で電子密度減?? 正電荷侵入で上層大気負電荷相殺吸収???</p>

電離圏



<https://swc.nict.go.jp/knowledge/ionosphere.html>

付録8: 自信問題について<日本が抱える3大筆頭問題>

筆者懸念は地震だけでなく、もう一つの自信問題を警告します、

日本人の“働く幸福度”、世界最低に 調査で分かった「3つの理由」

<https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2304/25/news036.html>

- 1: 上に従う、「権威主義・責任回避」。.....自分の事だけ、
 - 2: 低寛容性、18カ国・中で2番目に低く、異質者と関わろうとしない。.....自分の事だけ、
 - 3: 学習投資が認められない環境。.....他人が判らない、自分の事だけ、
- 多様な人生危機経験&修行等で、自信ある人は攻撃被害を恐れない、他人面倒見る余裕がある、
要は分裂させて支配せよの**植民地支配原理**、これを知らずば世界常識に反する。

現代日本人の“自分の事だけ”は戦後日本の自民党一党独裁＝米占領軍暴政支配の結果です。

彼らの封建主義プロイセンの**ヘーゲル哲学**が以下、その技術施工はCIA米軍と反日官僚が
決める**赤坂会合**での国策。皆はこの反日国策の被害者、簡単に治るものでない??。

Z世代は隠れ学校政策の結果、教師も被害者側、各人に自信を与える教育破壊の結果!!

弱悪化教育_反教育

<http://777true.net/The-Wicked-Education.pdf>

2022/4 不寛容と「幸福度ランキング58位」の日本人、一様性強制で異端排除教育が
日本不幸(創造力欠如と非寛容)を生む。

人民と国家は優生主義貴族の搾取対象<奴隷>、人民と天才は君主の手先となる。

敵を設定しての永久覇権闘争.....正義真実博愛の逆＝反神悪魔政策!!!

* **HEGEL AND TOTALITARIANISM THE CULT OF STATE POWER**

<http://www.worldfuturefund.org/wffmaster/Reading/Quotes/hegelnew.htm>